

機械設備工事特記仕様書 No. 1

【工事概要】

1 工事場所	京都府船井郡京丹波町菅根宮ノ浦戸表54				
2 建物概要	京都府船井郡京丹波町菅根宮ノ浦戸表54				
建物名	構 造	階 数	延床面積 (m ²)	消防法令別表第一耐震安全性の分類	備 考
のびのび児童クラブ1組	S	1	139.12㎡	15項	○甲 ●乙 ○甲 ○乙 ○甲 ○乙 ○甲 ○乙

3 工事科目 ●印をついたものを適用し、各一式とする。					
工事科目	建物名称	のびのび児童クラブ1組			
空調設備		●		○	○
換気設備		●		○	○
排煙設備		○		○	○
自動制御設備		○		○	○
衛生器具設備		●		○	○
給水設備		●		○	○
排水設備		●		○	○
給湯設備		○		○	○
消火設備		○		○	○
ガス設備		○		○	○
厨房機器設備		○		○	○
浄化槽設備		○		○	○
医療ガス設備		○		○	○
撤去工事		●		○	○

【特記事項】

- 一般事項
 - 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）平成二十八年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）平成二十八年版（以下「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）平成二十八年版」による。
 - 工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。
- 特記事項

項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

章	項 目	特 記 事 項
一	※設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員に承諾を受ける。 また、〔グ〕印は「京都府庁グリーン調達方針」（以下、「グリーン調達」という。）の特定調達品目を示す。 ●京都府ホームページ参照 <http://www.pref.kyoto.jp/zaisan/kankyo.html>
	※機材の承諾	機材の承諾に際しては、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課営繕技術管理室監修の機械設備工事機材承諾図様式集（最新版）によるものとする。
	※機材の品質・性能証明	使用する機材が、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価冊子（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(c)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。 ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	※現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	※電気保安技術者	※適用する ○適用しない
	○技能士（一般）	※配管（配管工事） ○建築板金（ダクト製作及び取付け） ○冷凍空調調和機器施工
	※工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。	
	※官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかにを行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
	※工事用仮設物	構内につくることが ※できる ○できない
	※足場・作業橋台	別契約の関係者・受注者が定置したものは、無償で使用できる。
二	※監督職員事務所	※設置しない ○設置する（○本工事 ○別途）
	※監督職員事務所に備え付ける図書	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） ・機械設備工事監理指針 ・建築設備耐震設計施工指針 ・公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
	※建設副産物の処理及び建設発生土の処理	○建設副産物の処理 右記のほか、 現場説明書による。 ○引き渡しを要するもの【 ○再生資源利用を図るもの【 ○特別管理産業廃棄物 ○PCB使用機器 ○臭化リチウム ○ ●建設発生土の処理 右記のほか、 現場説明書による。 ○構内指示場所に敷き均し ○構外搬出適切処理 再生資源利用（促進）計画・実施書の提出 詳細は現場説明書「Ⅱ特記事項 14 建設副産物の取扱い 2）再生資源利用（促進）計画・実施書について」による。
	1) 「建設発生土処理計画書」及び「建設副産物等処理計画書」を監督職員に提出する。	
	2) 関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理報告書」及び「建設副産物処理報告書」により監督職員に報告する。	
	3) 冷媒については関係法令に従い適切に破壊処分を行う（家電リサイクル法対象機器を除く。ただし、運搬及び処分費は ※本工事 ○別途 とする。）。	
	○アスベストの処理等	1) 次の資機材のアスベスト含有の有無は以下による。 ○アスベスト成形板 ○含有 ○不含有 ○要調査（分析資料数： ） ○ダクトパッキン ○含有 ○不含有 ○要調査（分析資料数： ） ○配管エルボ部保温材 ○含有 ○不含有 ○要調査（分析資料数： ） ○煙道の断熱材 ○含有 ○不含有 ○要調査（分析資料数： ） 2) アスベスト含有調査は以下のとおりとする。 （ただし、調査費用は ※本工事 ○別途 とする。 ） ※JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。 ○「建材中の石綿含有率的分析方法」（平成18年8月21日基発第0821002号及び基安化発第0821001号）による。（石綿含有率5質量%超の場合のみ） 3) アスベスト含有資機材は関係法令に従い適切に処理する。 調査の結果アスベスト含有が確認された場合の処理方法は監督職員との協議による。
	○塗装	標準仕様書による他下記の配管は塗装（指定色塗装）を行う。ただし保温を行う配管ダクトを除く ○屋外（○ダクト ○配管） ○屋内PS・EPS（○ダクト ○配管） ○屋内機械室・電気室（○ダクト ○配管）
	○吹出口及び吸込口ボックス	ボックスの材質について、特記がない場合は亜鉛鉄板製とする。ただし、グラスウール製とする場合はJIS A 4009（空気調和及び換気設備用ダクトの構成部材）によるものとし、厚さ0.6mm以上の亜鉛鉄板で補強を施したものである。 ボックスの吊りは3点支持を標準とし、これによれない場合は監督職員との協議による。
	○エポキシ樹脂コーティング及びライニング	エポキシ樹脂コーティング及びライニングの乾燥方法は下記による。 ○加熱乾燥 ○常温乾燥
○ボックス	PF管で配管する場合は、樹脂製ボックスを使用する。	
●容量等の表示	機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。ただし、電動機の出力、燃料消費量及び圧力損失は、表示された数値以下とする。	
○誘導電動機	電動機出力が、75kW以上の低圧三相かご形誘導電動機の規格は、JISC 4213（低圧三相かご形誘導電動機-低圧トランザンモータ）による。	

章	項 目	特 記 事 項
一	※工事関係書類	営繕工事契約関係書類提出書類書式一覧表により提出。 ●京都府へ参照 <http://www.pref.kyoto.jp/eizen/index.html>
	※履行報告	月報 ※2部 ○3部 毎月末に締め、翌月の5日までに提出する。
	※工事写真	1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（最新版）建築設備編」による。 2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。 3) デジタルカメラで撮影可とする。
二	※完成図書	名 称 内 容 大きさ 部 数 ○完成図 金文字製本 A4版 1部 ●完成図 ●背貼り製本（A2, A3版） ○A4ファイル止め 2部 ●施工図 ●背貼り製本（A2, A3版） ○A4ファイル止め 2部 ●機器完成図等 機器製作図 ファイル止め A4版 2部 ●機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書
	●諸官庁提出書類	副 本 1式
	●原図	完成図・施工図 1部
三	●完成写真	アルバム綴り 2部
	電子納品については、現場説明書による。	
	※著作権等	当該建物において取得する、施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
四	※付属品及び予備品	標準仕様書によるほか、別表1による。
	※総合調整	○風量調整（測定共） ○水量調整（測定共） ●室内外空気の温湿度測定 （測定結果は報告書にて提出） ○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音の測定 ○飲料水の水质の測定 ○雑用水の水质の測定
	●耐震施工	1) 設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」による。 2) 下記の設計用水平震度（KH）により、機器製作固定を行う。
五	設置場所	○特定の施設 ●一般の施設 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器 上層階、屋上及び塔屋 2.0(2.0) 1.5(2.0) 1.5(2.0) 1.0(1.5) 中 間 階 1.5(1.5) 1.0(1.5) 1.0(1.5) 0.6(1.0) 1階及び地下階 1.0(1.0) 0.6(1.0) 0.6(1.0) 0.4(0.6)
	設置場所	○特定の施設 ○一般の施設 水 槽 水 槽 上層階、屋上及び塔屋 2.0 1.5 中 間 階 1.5 1.0 1階及び地下階 1.5 1.0
	注1 耐震安全性の分類が甲類の建物は特定の施設を、乙類の建物は一般の施設を適用する。屋外に設置する機器は建物の耐震安全性の分類に準じる。ただし、敷地内に甲類の建物と乙類の建物が混在する場合は、特定の施設を適用する。 注2 ()内の数値は、耐震支持の機器の場合に適用する。 注3 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。 注4 上層階の定義は、6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上階2階。 注5 重要機器（水槽類）は、下記に示すものとする。（水槽類にはオイルタンク等を含む。） 注6 「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」による形鋼振れ止め支持を行う場合は、S種とする。ただし、取付け金物については標準図に準ずる。	
六	●一般用弁	標準仕様書第2編2.2.1(1)～(12)によるほか、下記による。 1) 水道直結部及び図面特記部の耐圧は10K以上、その他は5K以上とする。 2) 給水・給湯用の青銅製弁は、給水用青銅弁を使用する。
	○フレキシブルジョイント	機器廻りに取付けるフレキシブルジョイントは、鋼板に対してはペロース形、FRPに対しては合成ゴム製とする。
	○伸縮管継手（鋼管用）	鋼管用伸縮管継手は下記による。 ○ペロース形 ○スリプ形
七	○溶接接合	溶接部の非破壊検査は、 ○適用しない ○適用する（○放射線透過検査 ○浸透深傷検査又は磁粉探傷検査）
	●地中埋設標及び埋設表示用テープ	1) 給水管 地中埋設標（●要 ○不要） 埋設表示用テープ（●要 ○不要） 2) 消火管 地中埋設標（○要 ○不要） 埋設表示用テープ（○要 ○不要） 3) ガス管 地中埋設標（○要 ○不要） 埋設表示用テープ（○要 ○不要） 4) 油 管 地中埋設標（○要 ○不要） 埋設表示用テープ（○要 ○不要） 5) プライン管 地中埋設標（○要 ○不要） 埋設表示用テープ（○要 ○不要） 用途表示のあるテープ（幅は150mm以上）で、2倍長以上重ね合わせて使用する。
	○防食処理	土中埋設の排水用塩ビライニング鋼管は、防食処置を行う。
八	●保温	1) 保温材の使用は、下記による。 給水管・排水管 ○ポリスチレンフォーム保温材 ●グラスウール保温材 排煙ダクト・煙道、排気筒 ○ロックウール保温材 ○ その他 ○グラスウール保温材 ○ 2) 膨張管及び膨張水槽からの補給水管の保温は、冷水管に準ずる。 3) 鋼板製タンクの保温 ○必要 ○不要 4) 保温を施す膨張水槽等の蓋の保温 ○必要 ○不要 5) エア抜管の保温厚は20mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。また、保温を行う範囲はエア抜弁までとする。 6) 露出配管の保温外装種別は、下記による。 ・屋内 ○合成樹脂カバー1 ○合成樹脂製カバー2 ○ ・屋外 ●ステンレス鋼板 ○ 7) 弁、ストレープ等の金属製カバー外装種別は、下記による。 ・屋内 ○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○ ・屋外 ○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○ 8) 車庫内のダクト及び配管の保温は、機械室による。 9) 合成樹脂製支持受 ○硬質ウレタンフォームに準ずるもの ○ビーズ法ポリスチレンフォームに準ずるもの
	○塗装	標準仕様書による他下記の配管は塗装（指定色塗装）を行う。ただし保温を行う配管ダクトを除く ○屋外（○ダクト ○配管） ○屋内PS・EPS（○ダクト ○配管） ○屋内機械室・電気室（○ダクト ○配管）
	○吹出口及び吸込口ボックス	ボックスの材質について、特記がない場合は亜鉛鉄板製とする。ただし、グラスウール製とする場合はJIS A 4009（空気調和及び換気設備用ダクトの構成部材）によるものとし、厚さ0.6mm以上の亜鉛鉄板で補強を施したものである。 ボックスの吊りは3点支持を標準とし、これによれない場合は監督職員との協議による。
九	○エポキシ樹脂コーティング及びライニング	エポキシ樹脂コーティング及びライニングの乾燥方法は下記による。 ○加熱乾燥 ○常温乾燥
	○ボックス	PF管で配管する場合は、樹脂製ボックスを使用する。
	●容量等の表示	機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。ただし、電動機の出力、燃料消費量及び圧力損失は、表示された数値以下とする。
○誘導電動機	電動機出力が、75kW以上の低圧三相かご形誘導電動機の規格は、JISC 4213（低圧三相かご形誘導電動機-低圧トランザンモータ）による。	

章	項 目	特 記 事 項
一	○はつり	1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2) 復旧はモルタル補修までとする。
	●インサート及びアンカー	あと施工アンカー等を行う場合は、改修標準仕様書第2編第5章による。 施工後確認試験 ○行う（国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成28年度））による。 ○行わない
	○防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー	復帰方式は ○遠方復帰式（電気式（定格入力 DC24V 0.6A以下）） ○手動復帰式
二	○消音内貼	ダクト及びチャンパー、消音エルボの内貼り（箇所図示）は下記による。 ・消音内貼り部分の外部保温は ○不要 ○必要 ・チャンパーの寸法は、外形寸法を示す。 （ただし、ダクト及び消音エルボは、内形寸法を示す。） ・点検口は内貼り仕様又は断熱戸とする。
	○ドレン抜き	外壁に面するガラリに直接取付けるチャンパー類に必要に応じ設ける。
	○取付枠	防火区画部に取付ける吹出口、吸込口等で取付枠を必要とするものは鋼枠を使用する。
三	●機器の基礎	アンカーボルト及びナットは、下記による。 ・屋外、多湿室等（○溶融亜鉛メッキ ○SUS） ・その他（○一般品 ○） ○機器側の材質がSUS製の場合は、SUS製とする。
	○防火区画	○平面階 ○図示 ○
	○掲示板	機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図などを画いた掲示板を設ける。
四	○天井上区分	()書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	○給油設備	地下オイルタンク ○設ける ○設けない 選調油量指示計 ○設ける ○設けない 副指示計 ○設ける ○設けない オイルサービスタンク 油面計 ○ゲージ式 ○ガラス管式 油面制御装置の機能は下記による。 ○給油ポンプの起動、停止制御用 ○返油ポンプの起動、停止制御用 ○漏油警報 ○過満警報（○減油 ○満減油）
	○建物導入部配管（排気及び通気を除く）	○標準図 施工4(a)（7/4777 ヌイットを使用） ○標準図 施工5(b)（8-47 ヌイットを使用） ○標準図 施工5(c)（8/1777 ヌイットを使用）
五	○鋼材	屋外部分 ○溶融亜鉛めっき（○2種35 ○2種50） ○ステンレス鋼製（SUS304）
	○制御及び操作盤	構成 ○進相コンデンサー ○運転時間計 表示等 ○運転（赤色）及び停止（緑色）表示 ○保護継電器の動作表示 接点及び端子 ○遠方発停用端子 ○運転時間表示用端子 ○温水出入口温度用端子 ○冷水出入口温度用端子 ○消費電力表示用端子（ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用） ○給水量表示用端子（ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用） ○燃料消費量表示用端子（ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用）
	●主方式	○全空気方式（○中央 ○各階ユニット） ○ファンコイル・ダクト併用方式 ●個別方式 ○
六	●主要熱源機器	○吸収冷温水機 ○チリングユニット ○空気熱源ヒートポンプユニット ○空冷ヒートポンプ式パッケージ型空調和機（OEHP OGHP ○） ●ルウムエアコン
	●設計時の温湿度条件	場 所 屋 外 屋内（調整目標値） 時 期 温度（DB） 湿度（RH） 温度（DB） 湿度（RH） 温度（DB） 湿度（RH） 冬 期 0.4℃ 67.2% 20.0℃ 40% ℃ % 夏 期 36.3℃ 62.3% 26.0℃ 50% ℃ %
	○長方形ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法（○共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法）
七	○ダクトの分岐方法	○割込み工法 ○直付け工法
	●配管材料（図面特記部分は除く）	冷温水管 ○配管用炭素鋼管（白） ○ 冷却水管 ○配管用炭素鋼管（白） ○塩ビライニング鋼管（SGP-VA、SGP-FVA） 空調用排水管 ○配管用炭素鋼管（白）（○ねじ接合 OMDジョイントによる接合） ○水配管用亜鉛めっき鋼管 ●ビニル管（VP） 蒸気配管 給気管 ○配管用炭素鋼管（黒） ○ 還 管 ○圧力配管用炭素鋼管（黒） ○ 補給水管 ○配管用炭素鋼管（白） ○ 膨張管 ○配管用炭素鋼管（白） ○ エア抜き管 ○配管用炭素鋼管（白） ○ 冷媒管 ○銅管 ●断熱材被覆鋼管（ガス管：ハイグレード仕様） ○パッケージ型空調和機の2次側電気配管配線の仕様は製造者の標準仕様とする。
	○温度計	○工業用バイメタル式温度計 ○ガラス製棒状温度計 ○ガラス製二重管温度計 ○メカニカルタイプ ○風速センサータイプ（○フロベリウムセンサー ○熱線センサー）
八	○ファンコイルユニット	風量分配ダクトは ○亜鉛鉄板製 ○自己消火性のポリスチレンフォームなど
	○バーナー制御方式	○オン・オフ制御 ○ハイ・ロー制御 ○比例制御
	○電動機盤	○進相コンデンサー（○要 ○不要） ○排熱投入形再生器 直込吸込冷温水機に（○要する。 ○不要である。） ※図面による。
九	○高温再生器の構造	※図面による。
	○コック・バルブ装置	発電方式 ○原動機、発電機 ○燃料電池 熱回収装置 ○温水熱交換機 ○排ガスボイラー ○排ガス熱交換機 ○熱回収ポンプ ○その他
	○集中リモコン	その他装置等 ○補機付風制御装置 ○冷却塔（放熱用） ○ 表示機能 ○屋外機吸込温度 ○空調エネルギー使用量按分 ○運転時間積算 データ管理機能 ○屋外機吸込温度 ○空調エネルギー使用量按分 ○運転時間積算

TITLE	令和元年度 のびのび児童クラブ1組施設新築 工事設計図	DATE	2019. 03.	COA 有限会社	コア建築事務所	NO.	M-01
NAME	機械設備工事特記仕様書 No. 1	SCALE	/ /	CHECK	PLAN	DRW	

機械設備工事特記仕様書 No.2

章	項目	特記事項
空	○鋼板製煙道	厚さ ○3.2mm ○4.5mm ○ばい煙濃度計の取付座 ○ばいじん量測定口 ○伸縮継手 ○掃除口
	○ばい煙濃度計	○ファン付 ○ファンなし (電源はボイラー制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む)
調	○瞬間流量計	○固定形 ○着脱可能形 (測定用タッピング 個 本体 個)
	●保温 (図面特記部分は除く)	1) 冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内 隠ぺい部 ●不要 ○必要 露出部 ●保温化粧ケース (塩化ビニル樹脂製) ○ ・屋外 ●ステンレス鋼板 ○保温化粧ケース (樹脂製 ○アルミ合金製 ○ステンレス鋼板製 ○溶融亜鉛メッキ鋼板製) ・保温化粧ケースの下部カバー ○必要 ○不要 2) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工場の排水管による。 3) 加温用給水水櫃の保温は膨張タンクに準ずる。 4) トラフ内の油管はプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。
換	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法 (○共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法) ○スパイラルダクト
	○ダクトの分岐方法	給気ダクト ○割込み方式 ○直付け方式 排気ダクト ○割込み方式 ○直付け方式
設	○厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。
	○排気フード	1) 排気フードの補強・支持金物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ○ステンレス鋼板 (補強共) ○亜鉛鉄板 2) 排気フード廻りに取付ける幕板は、上記フードと同材質とする。 ○本工事 ○別途工事 3) グリスフィルターの予備 ○不要 ○必要
備	○保温	浴室・厨房 (多湿箇所) の外気取入ダクトの保温 ○不要 ○必要 外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 全熱交換器までの外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 全熱交換器以降の外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 保温を行う場合の仕様は標準仕様書第2編第3章第1節による。
	○排煙対象部分	○廊下 ○事務室 ○図示 ○最大面積 m ²
排	○ダクトの種類	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト
	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法
煙	○ダクトの材料	○亜鉛鉄板製 ○普通鋼板製
	○排煙口	1) 形状 ○スリットフェース形 ○パネル形 ○ダンパー形 2) 排煙口の開放 ○手動 (○機械式 ○電気式) ○煙感知器連動 3) 復原装置 ○手元復原式 (○手動式 ○電気式) ○遠方復原式 4) ダンパー本体及び操作部との廻り配線は本工事とし、それ以降の制御配管配線は別途工事とする。
設	○保温	床下及び隣接室内の保温 ○不要 ○必要 (図示) ※図面による。
	○小便器用節水装置	電気供給方式 ○AC電源 ○乾電池 ○水流発電充電電池
衛	○自動水栓	電気供給方式 ○AC電源 ○乾電池 ○水流発電充電電池
	○手動スイッチ	○無し ○有り
生	○大便器用洗浄弁	操作方式 ○手動式 ○電気開閉式 (○センサー式 ○タッチスイッチ式)
	●水石けん入れ	●手洗器一体型 ○手洗器分離型 ○
器	○身障者用器具	1) 大便器洗浄弁 ○センサー式 ○タッチスイッチ式 ○レバー式 2) 洗面器の水栓は自動水栓とする。
	●給水方式	○公共水道直結 ○受水タンク及び高層タンク ●受水タンク及び加圧ポンプ ○直結ブースターポンプ
給	●配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管 ○ステンレス鋼管 (SUS304) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ●ビニル管 (HIVP) ○ポリ粉末ライニング鋼管 (SGP-PA、SGP-FPA) ○塩ビライニング鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA) ○
	○配管材料 (図面特記部分は除く)	○ステンレス鋼管 (SUS316) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管 (50φ以下) (※2種 ○1種) (ポリエチレン管の接合方法は ○電気融着 ○メカニカル) ●ビニル管 (HIVP) ○ポリ粉末ライニング鋼管 (SGP-PD、SGP-FPD) ○塩ビライニング鋼管 (SGP-VD、SGP-FVD) ○
水	○緊急遮断弁装置	○要 ○不要 駆動方式 ○電気式 ○機械式
	○量水器	○直読式 ○パルス式 (○乾式デジタル式 ○湿式アナログ式)

章	項目	特記事項
給	○水栓柱	○合成樹脂製 (70x70x1300H) ○ステンレス製 () ○アルミニウム合金製 () 特記なき場合、水栓取付け高さは約600とする。
	●管の埋設深さ	1) 一般敷地 ●300mm ○ 2) 構内車両通路 ○600mm ○ 3) 寒冷地では凍結深度以上とする。
水	○加入金・負担金	○不要 ○必要 (○別途 ○本工事)
	○本管引込工事	○本工事 ○別途工事
備	●排水方式	汚水と雑排水 [屋内] ●分流式 ○合流式 汚水・雑排水と雨水 [屋外] ●分流式 ○合流式 ポンプ排水 ○有り (○雑排水 ○汚水 ○浄化槽2次側) ●なし
	○放流式	汚水 ●直放流水管 ○浄化槽 ○ 雑排水 ●直放流水管 ○浄化槽 ○別途樹・側溝 雨水ポンプアップ ○直放流水管 ○雨水側溝 ○雨水樹 湧水ポンプアップ ○直放流水管 ○雨水側溝 ○雨水樹
排	●配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内雑排水管 ○排水用塩ビライニング鋼管 ○鋼管 (SGPW) (○ねじ接合 OMDジョイントによる接合) ●ビニル管 (VVP) ○耐火二層管 ○
	○配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内汚水排水管 ○排水用塩ビライニング鋼管 ●ビニル管 (VVP) ○RF-VVP ○耐火二層管 ○
水	○通気管	○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VVP) ○鋼管 (SGPW) (○ねじ接合 OMDジョイントによる接合) ●ビニル管 (VVP) ○排水用塩ビライニング鋼管 ○耐火二層管 ○
	○地中配管 [屋内]	○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (REP-VU) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VVP) ●ビニル管 (VVP) ○ビニル管 (VU) ○
設	○地中配管 [屋外]	○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (REP-VU) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU) ●ビニル管 (VVP) ○ビニル管 (VU) ○
	○鋼管類のポンプアップ排水用の配管は、塩ビライニング鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA) (地中配管はSGP-VD、SGP-FVD) とし、継手はフランジ又はハウジング形継手とする。	
備	○満水試験継手	○必要 (図示箇所に取付ける) ○不要
	○負担金	○不要 ○必要 (○別途 ○本工事)
給	○本管接続工事	○本工事 ○別途工事
	○給湯方式	○中央式 ○局部式
湯	○配管材料	○鋼管 (壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。) ○ステンレス鋼管 ○耐火性塩ビライニング鋼管 ○保温付き被覆鋼管
	○保温	ガス漏洩器の排気筒の隠蔽箇所の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の表2.3.5による。
消	○消火設備の種類	○屋内消火栓 ○スプリンクラー ○泡消火 ○不活性ガス消火 () ○連絡送水管 ○
	○表示灯 (図面特記部分は除く)	屋内消火栓箱には、消火ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。 一般配管 ○配管用炭素鋼管 (白) ○圧力配管用炭素鋼管 (白) ○
火	○配管材料 (図面特記部分は除く)	○配管用炭素鋼管 (白) ○圧力配管用炭素鋼管 (白) ○
	○保温	屋内外地中配管 ○外面被覆鋼管 (SGP-VS) 消火用充水タンクの保温を ○施工する (膨張タンクによる) ○施工しない 消火用呼水タンクの保温を ○施工しない ○施工する (膨張タンクによる) 屋外露出管の保温を ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様準ずる) 屋内露出管の保温を ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様準ずる) トレンチ内の保温を ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様準ずる)
設	○ガスの種類	○都市ガス (発熱量 ○45,000kJ/N m ³ ○ KJ/N m ³) ○液化石油ガス (○50kg 本立 ○20kg 本立)
	○ガスメーター	親メーター ○貸与品 ○購入 子メーター ○購入 ○貸与品 計量方式 (○直読式 ○パルス式)
備	○配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管 ○配管用炭素鋼管 (白) ○ 屋内外地中配管 ○ポリエチレン被覆鋼管 ○ガス用ポリエチレン管 ○ 都市ガスの場合は、供給者仕様による。
	○地中埋設管の接合法	○SGM工法 ○ネジ工法 ○PE管工法 ○ビット内施工法 ○溶接工法 ○負担金 ○不要 ○必要 (○別途 ○本工事) ○本管接続工事 ○本工事 ○別途工事
設	○掘削工法	○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式
備	○掘削工法	○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式
井	○掘削工法	○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式

章	項目	特記事項
井	○掘削工法	○回転振動式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式
	○掘削工法	○回転振動式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式
設	○掘削工法	○回転振動式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式
	○掘削工法	○回転振動式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式
備	○掘削工法	○回転振動式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式
	○掘削工法	○回転振動式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式
設	○掘削工法	○回転振動式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式
	○掘削工法	○回転振動式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式

別表 1 付属品・予備品

○工具箱 (ドライバー、モンキーレンチ、組スパー、ハンマー)	○マンホールフック ○パイプレンチ ○ポンプフライヤー ●ラバーカップ (大、小)
○イージーキャビネット 1箱	○キーボックス
○盤類予備品 (ランプ及びヒューズの100%)	

器具表

器具名	多目的便器	洋風便器	紙巻器	小便器	手洗器	手洗器	多目的流し	洗濯機パン	洗濯機水栓	流し台	台所流し台	電気温水器	化粧鏡	化粧鏡	散水栓	てすり
参考品番 (TOTO)	CS20AB	CS230B	YH51R	UFH500	L260CM	L210CM	SK500	PWSP64H2W	TW11R	建築工事	建築工事	REKB25A	YM6090A	YM3560A	T28NH13	建築工事
付属品 (TOTO)	SH30BA	SH232BA		TG600PN	TLS01101J	TLC11AR	T200BSQ13C			水栓 x 4	混合水栓	床置貯湯量25L			ボックス共	
	(ロータンク)	(ロータンク)		(フッシュン [®] 別)	(立水栓)	(立水栓)	(横水栓)			排水トラップ	排水トラップ	アングル止水栓				
	TCF4723AMPR	TCF6622		T9R	T6PM1	T6PM1	TL220D			共	共	排水ホッパー				
	(ウォシュレット)	(ウォシュレット)		(ハ [®] ックハンガ [®] -)	(壁排水金具)	(壁排水金具)	(ハ [®] ックハンガ [®] -)			接続は本工事	接続は本工事	1φ200V				
					TL4CFU	TLC4A1F	T6PMR					2KW				
					(ア [®] ック [®] 形止水栓)	(ア [®] ック [®] 形止水栓)	(壁排水金具)									
					TL220D	TL250D										
					(ハ [®] ックハンガ [®] -)	(ハ [®] ックハンガ [®] -)										
				TS126ADR	TS126AR											
				(水石鹸入れ)	(水石鹸入れ)											
参考品番 (LIXIL)	BC-220SK	BC-ZA10S	CF-AA23D	U-406RU	L-176UN	L-132G	S-17	PF-6464AC	LF-WJ50KQ	流し台	台所流し台	EHPN-	KF-6090	KF-4060	LF-33-13-CV	てすり
付属品 (LIXIL)	DT-K250	DT-ZA150E		UF-3JT	LF-E02	LF-E02	LF-7KRZ-13	TP-52				床置貯湯量25L			ボックス共	
	(ロータンク)	(ロータンク)		(フッシュン [®] 別)	(立水栓)	(立水栓)	(横水栓)	(排水トラップ)		建築工事	建築工事	アングル止水栓				建築工事
	CW-PC12QC	CW-KB21		UF-506BWP	LF-105PA	LF-4PA	SF-10E			水栓 x 4	混合水栓	排水ホッパー				
	-NECK	(ウォシュレット)		(壁フレンジ)	(壁排水金具)	(壁排水金具)	(ハ [®] ックハンガ [®] -)			排水トラップ	排水トラップ	1φ200V				
	(ウォシュレット)			SF-10E	LF-3V	LF-3V	SF-25PA			共	共	2KW				
	CF-008-1			(ハ [®] ックハンガ [®] -)	(ア [®] ック [®] 形止水栓)	(ア [®] ック [®] 形止水栓)	(壁排水金具)			接続は本工事	接続は本工事					
	(分岐金具)				SF-10E	SF-10E	KF-30DN									
					(ハ [®] ックハンガ [®] -)	(ハ [®] ックハンガ [®] -)	(木ねじ)									
				KF-24F	KF-24F											
				(水石鹸入れ)	(水石鹸入れ)											
				A-6224	LF-6L											
				(排水口カバー)	(固定金物)											
				KF-30DN												
				(木ねじ)												
設置場所																
便所 (男)	1		1	1	1								1			1
便所 (女)		1	1			1	1							1		
管理室											1	1				
手洗いコーナー								1	1	1				4		
屋外															1	
計	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	1	1

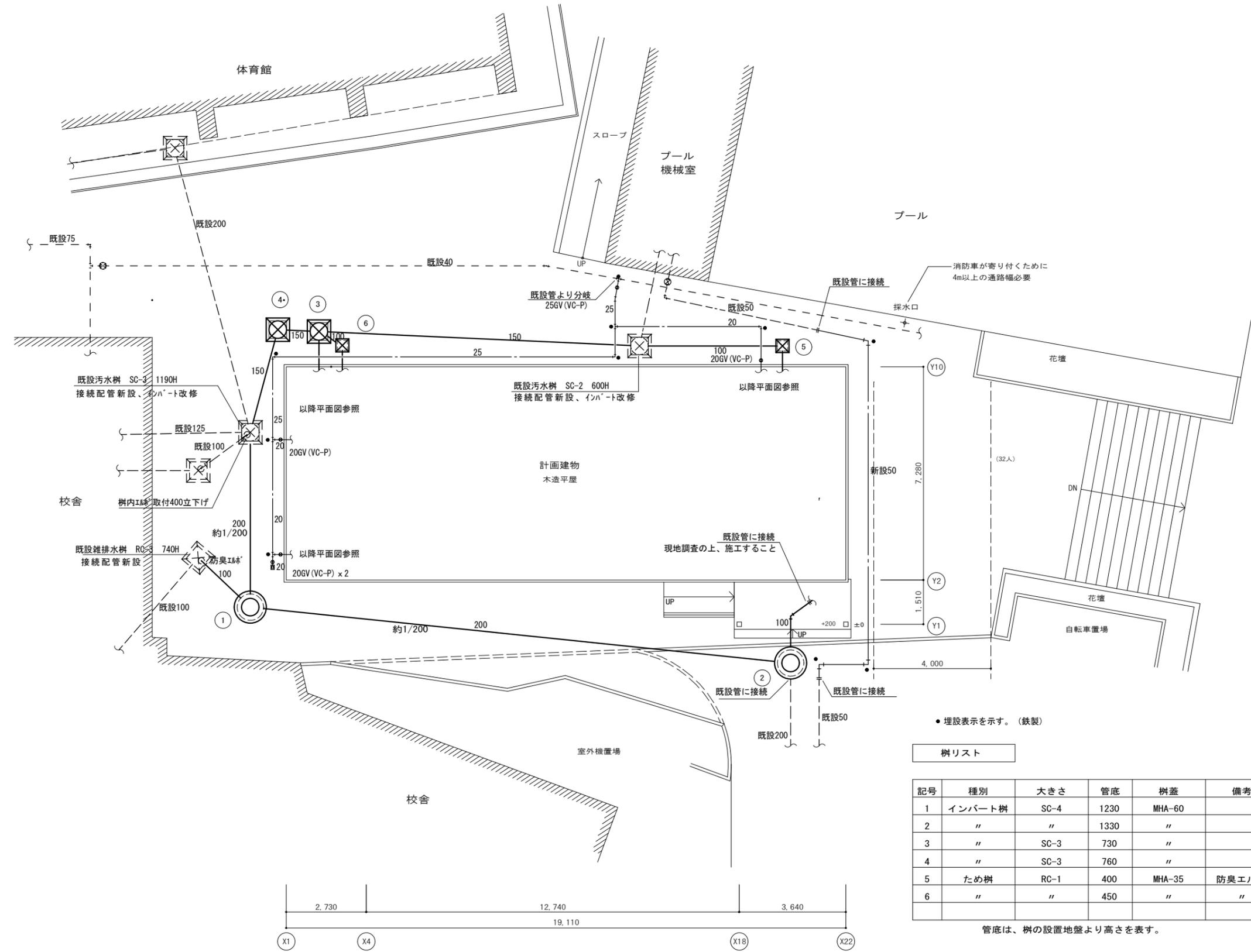
機器仕様書

記号	機器名	型式	能力 KW		風量CMM	付属品	参考品番 (三菱)	電源	屋内機		屋外機		台数
			冷房	暖房					送風機	送風機	圧縮機	送風機	
RC - 1	ルームエアコン	壁掛型	3.6	4.2	-	ワイヤレスリモコン 他標準付属品共	MSZ-ZXV3619-W	∅ V 1 100	KW 0.028	KW 0.95	KW 0.05		1
						冷媒 R32 基礎 (建築工事)							
RC - 2	"	"	9.0	10.6	-	ワイヤレスリモコン 2段積鋼製架台 (1台のみ) 他標準付属品共	MSZ-ZXV9019S-W	∅ V 1 200	KW 0.046	KW 2.4	KW 0.05		2
						冷媒 R32 基礎 (建築工事)							

空調機能力、電気特性は JISB8616:2015 基準による。

記号	機器名	型式	羽根径	風量 m3/h	機外静圧 PA	付属品	参考品番 (三菱)	動力		台数
								電源	容量	
FW - 1	パイプフードファン	低騒音型	130	80	10	ステンレス製フード付ベンドキャップ 共	P-12PSD7	∅ V 1 100	W 15.5	2
FW - 2	壁付換気扇	低騒音型	200	600	-	ステンレス製ウェザーカバー (防虫網付) キッチンフード 共	EX-20EMP6 + P60H2	"	W 17	1
FW - 3	壁付換気扇	24時間換気対応 2部屋型	250	(390) 755	-	ステンレス製ウェザーカバー (防虫網付) 24時間換気対応スイッチ共	EX-25SC3-S	∅ V 1 100	W 38	1
FO - 1	給気口	壁付				ステンレス製フード付ベンドキャップ 共	P-13WQU			3

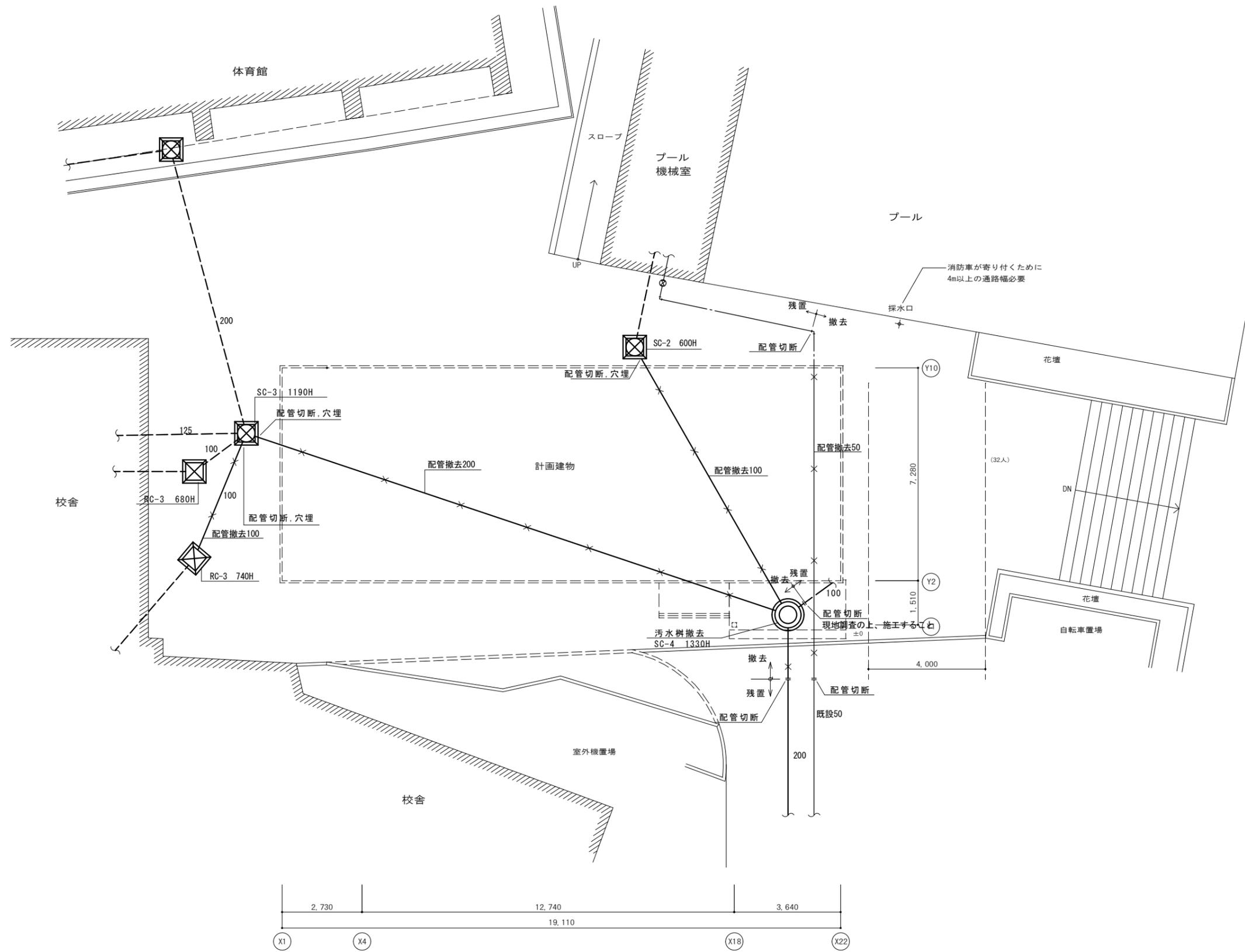
◎ () 内は24時間換気風量をしめす。
◎ 100cm2のSUS製ベンドキャップは防火覆い付とする。
◎ 機器品番は、参考とする。
◎ ウェザーカバー、ベンドキャップは指定色焼付塗装とする。



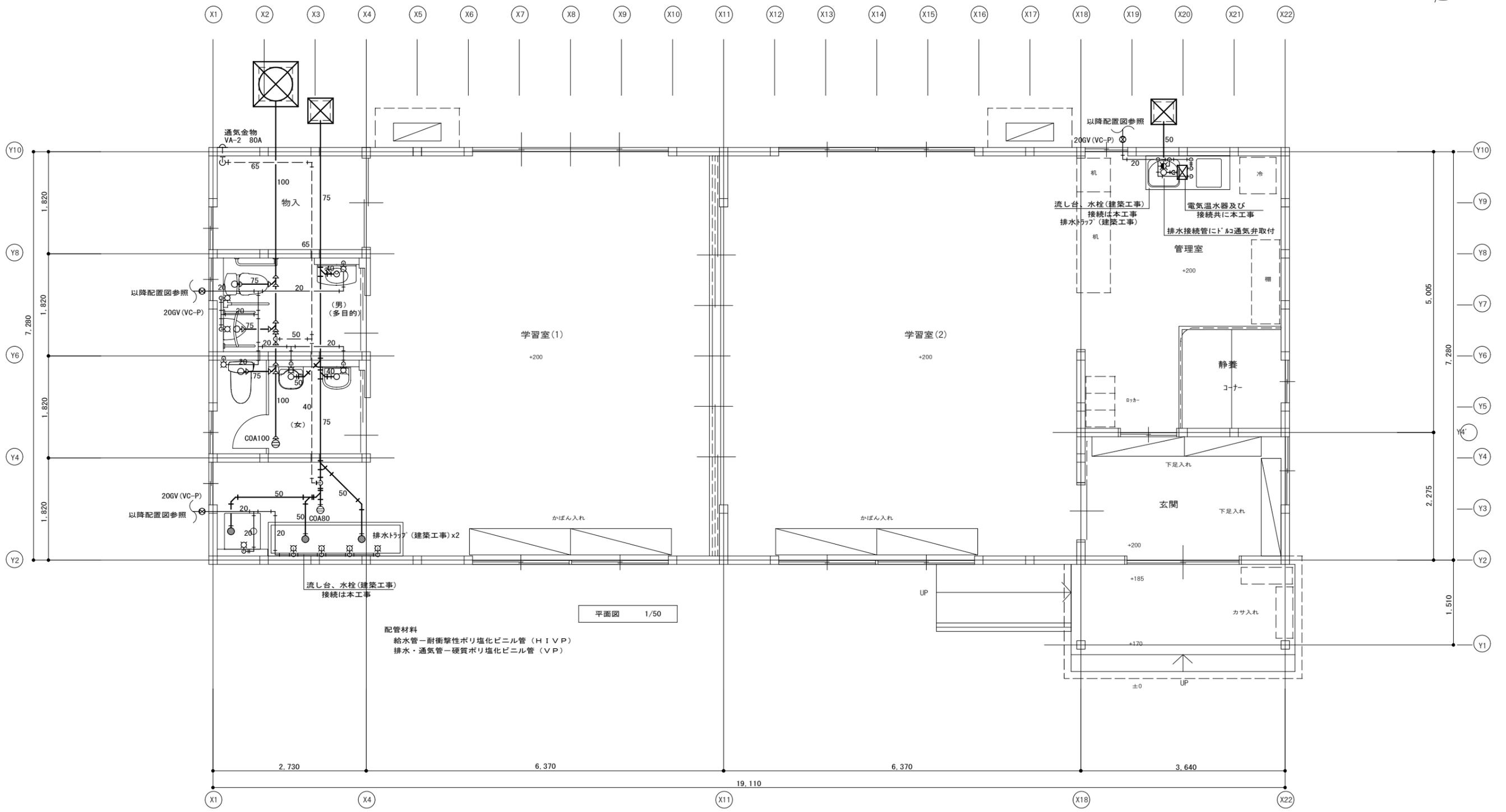
樹リスト

記号	種別	大きさ	管底	樹蓋	備考
1	インバート樹	SC-4	1230	MHA-60	
2	"	"	1330	"	
3	"	SC-3	730	"	
4	"	SC-3	760	"	
5	ため樹	RC-1	400	MHA-35	防臭エルボ
6	"	"	450	"	"

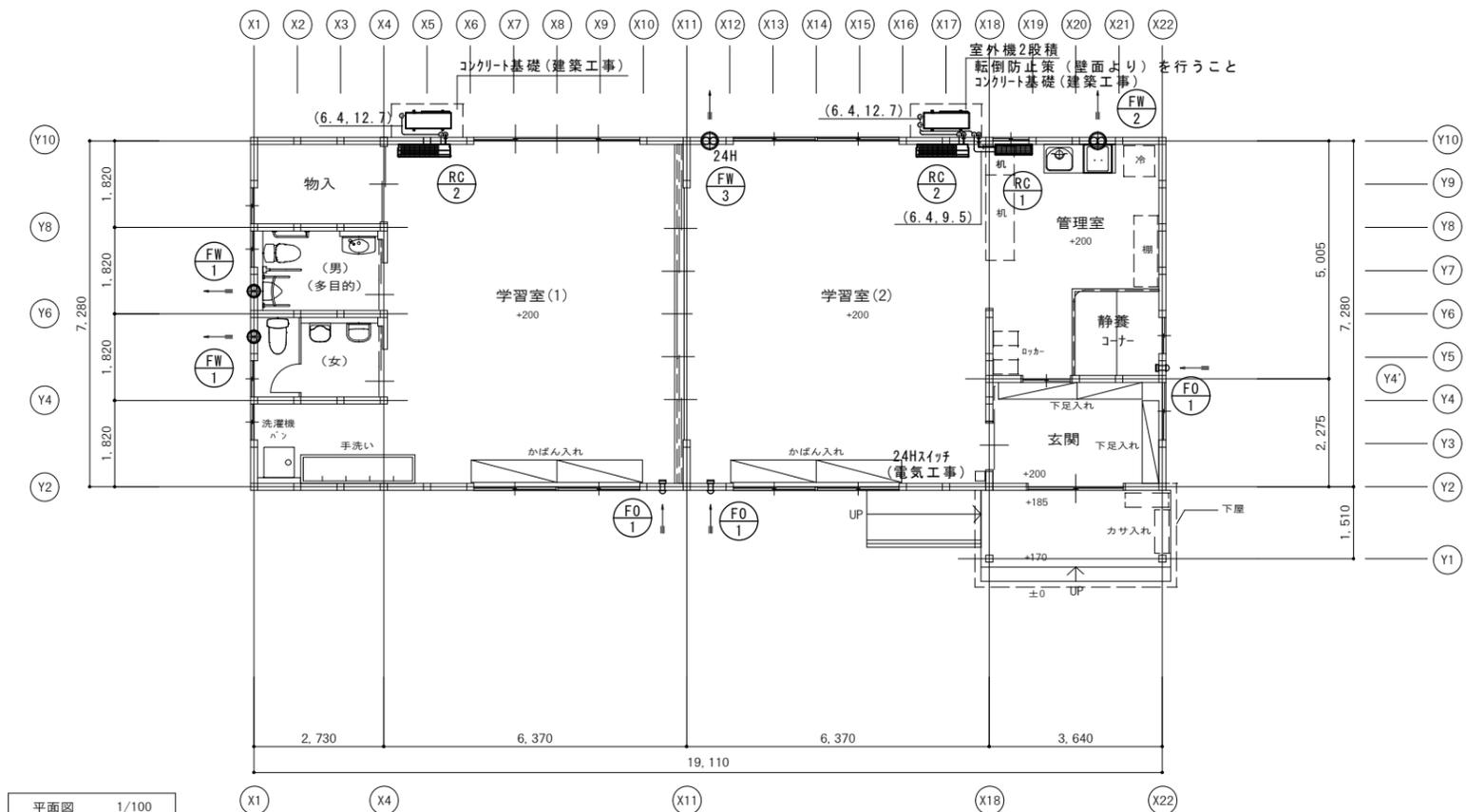
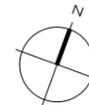
管底は、樹の設置地盤より高さを表す。



TITLE	令和元年度 のびのび児童クラブ1 組施設新築 工事設計図	DATE	2019. 03	COA 有限会社 コア建築事務所	NO.	M-05
NAME	配置図 (撤去)	SCALE	1/100 /		CHECK	PLAN



TITLE	令和元年度 のびのび児童クラブ1 組施設新築 工事設計図	DATE	2019 03	有限会社 コア建築事務所	NO. M-06	
NAME	給排水設備 平面図	SCALE	1/50 /			CHECK



平面図 1/100

冷媒管には、室内外渡り線 EM-EEF2.0-2C x 2を共巻する。

TITLE	令和元年度 のびのび児童クラブ1組施設新築 工事設計図	DATE	2019 03	COA 有限会社 コア建築事務所	NO. M-07	
NAME	空調設備 平面図	SCALE	1/100 /			CHECK